



▲ ブッシュダンスパーティー

マツカイ市に行ってきました！

—第21回松浦市青少年親善使節団—

「第21回松浦市青少年親善使節団」が松浦市の姉妹都市であるオーストラリアのマツカイ市を、8月4日から11日にかけて訪問しました。

訪問したのは、市内の中高生15人と引率者2人。滞在中は、ホームステイや学校訪問などを体験し、マツカイ市民との交流を深めました。

青少年親善使節団の ひとこと感想

高田 真亜子（松浦高校1年）

初めて会う人も笑顔で話してくれて、すぐ仲良くなることができ、日本とは違うフレンドリーさを感じました。

田中 静華（松浦高校1年）

ホストファミリーのおかげでとても楽しい一週間を過ごすことができました。

宮本 莉奈（松浦高校1年）

英語が分からなくてもジェスチャーや顔の表情などでだいたいのことが伝わるということが分かりました。



▲ 姉妹都市提携25周年のお祝いのケーキ
(左) ジョーンズ姉妹都市委員長
(中央) カマフォード市長

福田 央軌（志佐中学校3年）

桃太郎の劇はテンションが高かったのでアドリブがいっぱい入りました。みんなが笑ってくれたのでうれしかったです。

松本 真弥（志佐中学校3年）

マツカイの方々のアットホームな雰囲気のおかげで、いつの間にか、不安や心配はなくなっていました。

山田 結菜乃（志佐中学校3年）

言葉が通じず大変な事もあったけど、心からの笑顔があるだけで、その場をその時をその一日を楽しめます。ごすことができます。

松永 彩里（志佐中学校2年）

もっと英語を勉強し、マツカイでの経験を忘れないで頑張っていきます。



▲ ダンパー（堅パン）作り



▲ 高校訪問



▲ 小学校訪問



▲ 「桃太郎」の英語劇を披露



▲ ホストファミリーと一緒に



▲ クリケット体験

鳥越 あずさ（御厨中学校3年）
1週間という短い間のホームステイで、マッカイが大好きになりました。とても良い経験ができ、また、マッカイに行きたいと思いました。

坂田 寿輝（御厨中学校3年）
自分が伝えられなかった悔しさ、相手に手間をこらせてしまった申し訳なさから、今までで一番英語をもっと覚えていければ良かったと思いました。

宮本 真帆（今福中学校3年）
単語さえ覚えておけば簡単な会話はすることができたので、身の回りのものを全部英語で言えるようになることを目標にして頑張りたいと思います。

福浦 和樹（今福中学校3年）
コミュニケーションがとれるようになるのとだんだん楽しくなり、通じたらとてもうれしくなったりして充実した1週間でした。



▲ アボリジニの「ディジュリドウ」という楽器演奏体験

吉永 貴津那（調川中学校2年）
今は、将来働いて稼いだお金で、もう一度マッカイ市に行って、ホストファミリーに再会するという小さな夢を持っています。

久保田 千尋（調川中学校2年）
自分と違う国の人と接することで、世界観も変わりました。今回の訪問で学んだことをこれから生かしていきたいです。

宮崎 づらら（調川中学校3年）
私を受け入れてくれ、家族のように接してくれたホストファミリーに感謝したいです。

松坂 沙南（御厨中学校3年）
この訪問は私の人生においてすごくためになったと思います。これからもこの交流を続けてほしいです。